

- 各種スポーツの世界大会が本市において開催が予定されている
- 大会の開催を通じて交流人口・競技人口の増加や経済の活性化を図る

現状・課題

①バドミントン国際大会開催経費

- ・バドミントン最高峰シリーズの一つ、グレード「Super500」の開催(今後4年間)が決定
- ・県との共催により経済効果や競技の振興を図る必要がある。

②マスターズ水泳関係経費

- 本市・福岡市・鹿児島市の3都市で開催し「水泳競技の浸透」「都市力の向上」「経済波及効果」といった効果の最大化を図る必要がある。

③ラグビー日本代表戦開催経費

- ラグビーワールドカップ2019を契機とした盛り上がりを一過性のものとせず、開催国の財産として、経済効果や競技の普及・振興を図る必要がある。

事業概要

	①バドミントン国際大会	②世界マスターズ水泳	③ラグビー日本代表戦
事業費	50,000千円	38,100千円	19,255千円
経費内容	・実行委員会負担金	・実行委員会負担金 ・運営支援業務委託 ほか	・実行委員会負担金
主催	・世界バドミントン連盟 (BWF)	・World Aquatics (旧名称 FINA 国際水泳連盟)	・日本ラグビーフットボール協会連盟)
共催	・日本バドミントン協会 ・熊本県バドミントン協会 ・熊本県、熊本市	・福岡市 ・鹿児島市 ・熊本市	・加盟自治体(144自治体)
日程	・2023年(令和5年)～4年間 (2023開催日:11月14日～19日)	・2023年(令和5年) 8月2日～11日	・2023年(令和5年) 7月15日
会場	・県立総合体育館	・福岡市 ・鹿児島市 ・熊本市(アクアアリーナくまもと)	・えがお健康スタジアム
種目	・男女シングルス・ダブルス ・混合ダブルス 全5種目	・水球(熊本市)	・ラグビーワールドカップに向けた日本代表の強化試合
参加人数 (見込み)	・500～600人 (選手・コーチ・大会役員等)	・約100か国・地域 ・約10,000人(全競技合計)	・2万人(集客目標)

イメージ図

